



朝晩の涼しさに秋の気配をかすかに感じられる頃となりました。

皆様、いかがお過ごしですか。

今号は皮膚創傷管理山口と感染管理岡本が、業務の中で取扱いの多い末梢静脈カテーテル管理の中の、ドレッシング材の貼り方・はがし方について、振り返りを行う内容としました。

●ドレッシング材の貼り方

刺入部の観察ができるように貼付

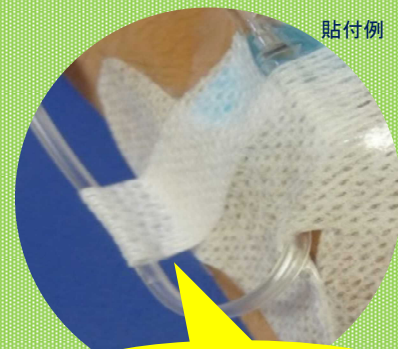


ループを作って
予定外抜去を予防!



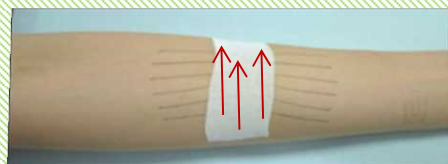
※次回交換日の
記載も忘れずに!

貼付例



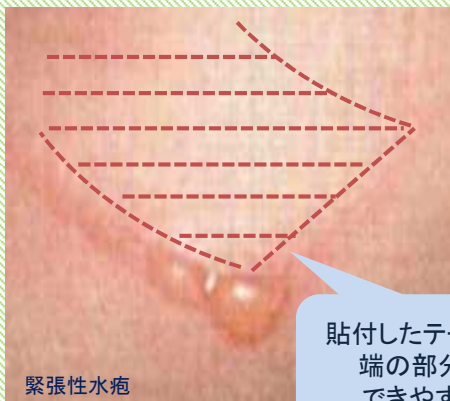
Ω(オメガ)張り

●貼り方により発生する皮膚障害



テープを引っ張って
貼付すると・・・

皮膚が引っ張られて
負荷がかかり、
角質の損傷を招く



緊張性水泡

貼付したテープの
端の部分に
できやすい

皮膚障害の観察点

- ◆角質・表皮剥離の有無
- ◆浸軟
- ◆アレルギー性接触性皮膚炎
- ◆一次刺激性接触性皮膚炎
- ◆感染(毛嚢炎・カンジダ皮膚炎)
- ◆緊張性水泡

●ドレッシング材のはがし方

- ①周囲の皮膚を指で押さえながら
- ②テープの角度が皮膚表面に
対し平行になるようにして
- ③ゆっくり剥がす

- ・皮膚を押さえずに剥がす
- ・テープを力任せに勢いよく剥がす
- ・上に引っ張り上げるように剥がす



ドレッシング材の管理を
適切に行い、
皮膚トラブルを
なくしていきましょう。

気になることは
ご連絡ください。